

地域資源（ジュニパーベリー等）を活用して所得アップ

【令和3年度補正】

名張産ジュニパーベリー等を活用したジンの生産（未利用資源を有効活用した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

調査・検討・実践

【地区名】 名張市南部地区（三重県名張市）

【現況】 ・ジンの製造に不可欠なジュニパーベリーが地域内に自生しているが、これまでに有効に活用されてこなかった。
・名張産のジュニパーベリーやゆず、ぶどうを活用し、新たにジンを開発・製造することで、地域資源の活用と価値の創出を図り、所得向上を目指す。

①現況調査の実施

ジュニパーベリー等の栽培
適正等の把握、市場調査

②試作品の製造

本格製造に向け、名張産のジュニパーベリーやゆず、ぶどうを使用したクラフトジン等を試作



②試作品の製造



②クラフトジン 柚雪（ゆずき）

③プロモーションの実施

広報誌・SNS等を活用した
プロモーションを実施



（ジュニパーベリーの実）



③三重県知事表敬訪問（中央 一見知事）

取組の成果

令和6年度の農産物（ゆず、ぶどう）の販売額は6,328千円となっており、現況値の5,000千円から販売額が大幅に増加（27%増）している。

現況値(R3)	目標値(R6)	実績値(R6)
5,000千円	5,585千円	6,328千円